

令和2年度の鴨川等における橋梁工事について

□令和2年度の鴨川等における橋梁工事箇所

京都市では、阪神・淡路大震災を踏まえ、平成7年度から緊急輸送道路上の橋りょうや跨線・跨道橋の耐震補強を進めてきました。しかしながら、平成23年3月に発生した東日本大震災を踏まえ、耐震補強の更なるスピードアップが課題となっています。

また、建設後50年を経過した橋りょうの割合が高く、かつ高度成長期に建設したものが多いため、老朽化が急速に進んでおり、このまま対策を講じないと、近い将来、修繕・架け替えが集中し、維持管理費が急増することが課題となっています。

このため、耐震補強と老朽化修繕を並行して進めることにより、効率的・効果的かつスピード感をもって取り組む「いのちを守る 橋りょう健全化プログラム」を策定し、平成24年度から、橋りょうの耐震補強と老朽化修繕を進めています。

今年度の鴨川及び高野川において、橋りょう健全化プログラムに基づき実施する橋梁工事箇所を下図に示します。

